

【声に出して読む】 俳句 小林一茶 一

やれ打つな 蠅が手をすり 足をする

やれうつな はえがてをすり あしをする

これがまあ 終の栖か 雪五尺

これがまあ ついのすみかか ゆきごしやく

雀の子 そこのけそこのけ お馬が通る

すずめのこ そこのけそこのけ おうまがとおる

泣け涙 蟲の命も あるものを

なけなみだ むしのいのちも あるものを